

水口地区における元気な邑づくり

～水口地区元気な邑づくり推進協議会の取り組み～



水口地区の棚田風景

山梨市水口地区

山梨市水口地区は、甲府盆地東部に位置し、農地は傾斜地が多く、小区画の棚田が、織りなす風景が美しい景観を作っています。

元気な邑づくり推進協議会

水口地区は、地域住民の高齢化により、遊休農地の拡大や里山景観の荒廃が進むなど、中山間地域特有の課題を抱えています。このため、棚田景観の保存や荒廃した農地の復元・再生事業など地域振興を目的として平成17年11月、地域住民が集まり「水口地区元気な邑づくり推進協議会」を設立し、現在まで様々な取り組みを行っています。

ふるさと水と土基金事業

～田んぼの生きもの調査～

水田は、米づくりだけではなく、雨水を一時的に貯え、洪水や土砂崩れを防ぐとともに、生きものを育み、私たちの心を和ませる等の多面的機能を有しています。

そこで、多様な生きものが生息する水田の機能を改めて認識してもらうことを目的に県、市、協議会が連携し、小学生を対象に田んぼの生きもの調査を実施しています。参加した小学生たちは暑い中、目を輝かせながら生きものを捕まえて、観察していました。このような活動を通じて農業の大切さを考えるきっかけや地域住民と子どもたちとの交流の場にもなっています。



田んぼの生きもの調査

取り組みの概要～米づくり体験～

遊休農地の解消と棚田の再生

後継者不足や農家の高齢化等により遊休農地が増加していることから、推進協議会で草刈りを実施し、遊休農地を解消しました。あわせて、棚田を再生させるために米づくり体験も実施しています。

米づくり体験による地域活性化

地区外や県外の方を対象に棚田での米づくり体験の募集（1口：10,000円/年）を行い、5月は代かき、田植え、7月は草取り、9月は稲刈り、10月は脱穀と年間4～5日程度の維持管理作業を共同で行っています。これまで参加者のうち、県外の方が約半数を占めています。

米づくり体験の最終日には、新米やイノシシの肉、白菜、イモ類等地域の食材を用いた昼食を振る舞う「収穫祭」を開催して賑わいをみせています。農作業を通じ、都市住民の方々と交流を図ることは、地域の人にとっても新しい発見や刺激を受ける新たな活力となり、地域活性化に繋がっています。



田植え



稲刈り



脱穀



収穫祭の様子

更なる元気な邑づくりのために～推進協議会会長からのメッセージ～

当協議会は、米づくり体験において指導等を行っており、その結果、参加者のリピーターも多く好評を得ています。多くの方々と交流できる機会は、生きる活力にもなっているので継続したいと思えます。

他にも、ホタルの里を再生する取り組みや観光名所となる仏沢・友沢の奇岩、奇石の命名および散策道の整備も実施することにより、更なる地域活性化に繋がっていきたいと考えています。